**脱炭素社会推進会議　第9回シンポジウム**

**脱炭素型の都市づくりに向けた緩和策と適応策**
**-今後の都市再生の道筋をどう描くのか，2030年への緊急応答-**

日時：2023年1月24日(火) 午後１時～5時30分　　オンライン開催

# 2部　脱炭素型の都市づくりに向けた緩和策と適応策

## 主旨説明


**糸長浩司**

**NPO法人エコロジー・アーキスケープ　理事長**
**飯豊町立いいで農村未来研究所　所長**
**日本建築学会原発長期災害対応特別研究委員会　委員長**
**同　脱炭素社会推進ＷＧ都市部門主査**
**脱炭素社会推進会議　幹事**


©KOJI　ITONAGA

**★IPCC第6次報告書（2022）**
**気候にレジリエントな開発を問う（特に第三世界で気候危機・災害の厳しい国）**
インフラと都市形態の体系的な移行
新築と**改修建築物の両方における将来の気候変動への適用**（先進国）
**→都市域における適応策と緩和策の効果**と必要性を強調
**都市・建築分野の役割の重要性を指摘**
**★COP27（2022）**
**地球温暖化への緩和＋適応＋ロスダメ（災害格差・損害補償（先進国の責任））**

**★IPBES及び生物多様性戦略COP15（2022）**
**30BY30　陸域・海域の３０％の保護、ネイチャーポジティブエコノミー**
OECM（保護区域以外での保全・里山等）の導入
**★IPCC＋IPBES共同報告（2021）**
地球温暖化対策+生物多様性保護対策の同時進行要請
**★新型コロナの慢性的拡大と被害者格差**
自然（大地・水・空気・動植物）と人間の関係性の再構築
**★SDGsをウォッシュではなく、未来への社会変革にするための総合的なアクション**
**★「万人のための地球」（『成長の限界』から50年）　富と権力の公平な分配**

**★ファンド　TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）**
**＋TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）**

**自然資源を社会的共通資本（宇沢弘文）として経済に組み込む。**
**自然資源を平等に持続的に活用するために経済社会システム転換**

©KOJI　ITONAGA

## 課　　題

人新世時代の緊急対応
①CO2の急激削減　　（緩和）
②異常気象災害対策　　（適応）
③ロスダメと補償

都市再開発は大量なCO2排出
　→大都市栄えて地球水没
東京都都市再開発のCO2排出量
＝吸収するには森林が
　毎年、東京森林の1.14倍　必要
大規模都市再開発の要因
新自由主義型建築・都市計画制度
環境と調和した建築・不動産業
への革新が急務。ESG、SDGs、
TCFD（気候関連財務情報開示）
TNFD（自然関連財務情報開示）
を真摯に取り組む

## 解決の方向

脱炭素型の建築都市制度への転換
市民参加と
建設拒否権(リファレンダム)と
提案権（イニシアティブ）の確立
関係有識者と市民とのオープン討議
閉鎖型有識者審議会（エリート層）
から市民ベースの意思決定への脱皮

脱炭素型の建築・都市手法への転換
開発型から修復型建築・都市再生
緑地保全再生
ネイチャーボディティブ
グリーンインフラ都市

企業・投資倫理の革新
投資先企業への監視
年金積立金管理運用独立行政法人
（ＧＰＩＦ）保有株総額４０兆円
緩和と適応への的確な投資の監視

©KOJI　ITONAGA